

平成28年度
「専門工事業の担い手確保・育成」
に向けた訓練体系の構築

～関西鉄筋工業協同組合の取組について～

地域連携ネットワークの構築及び事業の実施について

3団体で連携・各種学校等と協力

関西鉄筋工業協同組合

近畿建設躯体工業協同組合

関西圧接業協同組合

関西地区の工業高校

関西地区の専門学校

出前講座・建設技術展など

地域における若年者の人材確保・育成に向けた職業訓練体系の構築

業界の広報活動やイメージアップを図っていく

これまでの出前講座開催実績

- 平成22年度
開催校：3校（9回） 大学1、女子大附属中等教育学校1、工科高校1
受講者：延べ173名
 - 平成23年度
開催校：3校 大学1、工業系高校2
受講者：延べ187名
 - 平成24年度
開催校：7校（8回） 工業系高校4、農芸高校1、専門学校1、工業系高校夜間1
受講者：延べ357名
 - 平成25年度
開催校：9校（13回） 大学2、工業系高校4、農芸高校1、専門学校1、工業系高校夜間1
受講者：延べ484名
 - 平成26年度
開催校：11校（13回） 大学3、工業系高校6、農芸高校1、専門学校1、専門学校夜間1
受講者：延べ682名
 - 平成27年度
開催校：10校（11回） 大学3、工業系高校4校、普通高校1、農芸高校1、専門学校1
受講者：延べ664名
- 開催校：延べ43校
受講者：延べ2546名

平成28年度 合同出前講座開催実績

○実施概要

大阪府立東大阪高等職業技術専門校（ものづくりカレッジ）を訓練施設として、高校生等を対象にした合同出前講座を開催。受講者数の合計は472名。

平成28年6月10日（金）

午前の部（10:00～12:00）大阪府立今宮工科高校の3年生39名

内容：とび、鉄筋、型枠大工、圧接の組立及び実技体験

午後の部（13:30～15:30）大阪市立都島工業高校の3年生61名

内容：とび、鉄筋、型枠大工、圧接の組立及び実技体験

平成28年10月18日（火）

午前の部（10:00～11:45）大阪府立西野田工科高校の2年生82名

内容：とび、鉄筋、型枠大工、圧接、左官の組立及び実技体験

午後の部（12:30～14:15）大阪府立布施工科高校の2年生40名

内容：とび、鉄筋、型枠大工、圧接、左官の組立及び実技体験

平成28年10月20日（木）

午前の部（10:00～12:00）修成建設専門学校の1年生124名

内容：とび、鉄筋、型枠大工、圧接、左官の組立及び実技体験

午後の部（13:00～15:00）修成建設専門学校の1年生126名

内容：とび、鉄筋、型枠大工、圧接、左官の組立及び実技体験

平成28年度合同出前講座を終えての感想（抜粋）

Q. これまでの建設業に対するイメージと受講後の感想をお書きください



（大阪府立今宮工科高校）

- ・大変そう、やっぱり大変そうだった。職人さんはしんどいなあと思った。
- ・とび工事は適当に組んでいるのかと思っていただけ、ミリ単位の仕事だということを知ってもらった。
- ・学校では実技が少ないので本当にこういう体験が楽しいです。
- ・職人さんは一つひとつの作業が早くて正確でとにかくすごかった。



（大阪市立都島工業高校）

- ・計画コースで設計ばかりだったので、こういった体験は新鮮だった。百聞は一見にしかずとはまさにこのことだと思った。
- ・今回の講座でどの職種にも興味が湧いた。どれももっと知りたいと思った。
- ・溶接と圧接の違いがはっきりと分かった。
- ・現場の職人さんは技術が大切だということが今まで以上に深く理解できた体験だった。

平成28年度合同出前講座を終えての感想（抜粋）

（大阪府立布施工科高校）

- ・ 建設業は世の中になくってはならないものだと思う。これからの自分の進路選択の参考にしたい。
- ・ 建設業のイメージはとても難しく僕たちにはできないと思っていたが、職人さんたちに教えてもらい少しだが身近なものに感じることができた。
- ・ 建設業は色々な職種があることが分かりとても勉強になった。
- ・ 僕は鉄筋試験を受けるので今回の講座を受けてすごく勉強になった
- ・ 5つの職種を体験できてとても良かった。とび、型枠大工に興味を持った。



（大阪府立西野田工科高校）

- ・ 自分は体を動かすのが好きなのでとびや型枠大工の作業が楽しかった。卒業したら建築の仕事をしたと思った。
- ・ 見えないところですごく頑張っていることが分かった。自分もそういう仕事に就きたいと思った。
- ・ 親の仕事が型枠大工なので帰ってまた色々話をしたいと思った。
- ・ 時間が短すぎたからもっとゆっくり、じっくりやりたかった。
- ・ 左官が楽しかったので仕事でやりたい。

平成28年度合同出前講座を終えての感想（抜粋）

修成建設専門学校

- ・教科書で見たことのある単語や方法など図上では想像しにくかったものを実際に見るととても分かりやすく興味を持つことができた。
- ・全職種の講座で工具の使い方や安全に関することを丁寧に教えてもらいよく理解できた。
- ・左官は楽しくできたし面白かった。とびの仕事もカッコ良くてすばらしかった。
- ・鉄筋と鉄筋を固定する作業が体験で一番楽しかった。
- ・色々な人、色々な仕事が合わさって一つの現場ができていることが分かった。
- ・鉄筋の継手は教科書でしか見たことがなく、実際に圧接を見た時は感動した。
- ・型枠大工が楽しかった。職人になりたいと思っていたので本当に良い体験ができた。



興味を持った職種についてのアンケート

(平成28年10月実施の合同出前講座)

今回の講座で興味を持った職種はありましたか？（複数回答可）

○西野田工科高校（受講者76名）

- ・とび：22名
- ・鉄筋：17名
- ・型枠大工：8名
- ・圧接：18名
- ・左官：44名
- ・特になし：8名

○布施工科高校（受講者40名）

- ・とび：9名
- ・鉄筋：12名
- ・型枠大工：8名
- ・圧接：10名
- ・左官：25名
- ・特になし：3名

○修成建設専門学校（受講者：午前126名、午後124名）

- ・とび：25名
- ・鉄筋：50名
- ・型枠：35名
- ・圧接：75名
- ・左官：110名
- ・特になし：29名

平成28年度合同出前講座以外の開催実績

○大阪大学

- ・日時：平成28年6月3日（金） 13:00～16:00
- ・受講者：工学研究科の3年生40名
- ・内容：座学＝鉄筋工事の実際（施工図等）、圧接工事の仕組みや役割について
実技＝3級検定モデルの組立作業、圧接作業の実演見学及び体験

○立命館大学

- ・日時：平成28年7月4日（月） 座学 16:20～17:50
- ・受講者：建築都市デザイン工学科の3年生69名
- ・内容：「技能と海外労働者」「建設業界の現状と課題」「圧接工事の仕組み」等について

- ・日時：平成28年7月11日（月） 実技 16:20～17:50
- ・受講者：建築都市デザイン工学科の3年生69名
- ・内容：3級検定モデルの組立及びモチ網を使った結束体験、圧接の実技体験

○神戸市立科学技術高校

- ・日時：平成28年10月7日（金） 8:50～11:40 11:50～16:40
- ・受講者：都市工学科の2年生78名
- ・内容：座学＝鉄筋及び圧接の役割等について
実技＝3級検定モデルの組立作業、圧接作業の実演見学及び実技体験

○奈良県立奈良朱雀高校

- ・日時：平成28年11月11日（金） 12:05～16:00
- ・受講者：建築工学科の2年生38名
- ・内容：3級検定モデルの組立作業、圧接作業の実演見学及び実技体験

受講者数の合計は225名

専門工事業担い手確保・育成委員会

平成28年11月30日（水）16:00～ 建団連会館・8階会議室

委員会冒頭での岩田理事長の挨拶（要旨）

・この委員会はこれまで出前講座を開催している学校の先生方を中心に、行政（大阪労働局）、そして私たち団体の代表がメンバーとなり、皆様のご意見、お考えを聞きながら意見交換し、合同出前講座等を通じて将来の担い手確保・育成を目指そうというものです。一年目の昨年は開催時期や会場、時間配分の調整など試行錯誤をしながらの開催となりましたが、おかげさまで昨年、今年とも6月と10月（二日間）に合同出前講座を開催することができました。今年10月からはそれまでのとび、鉄筋、型枠大工、圧接に新たに左官が加わり5職種での開催となりました。

皆様方にご支援、ご協力をいただいていたコンソーシアム事業による地域連携ネットワーク構築支援事業も来年5月で終了します。そのため、それ以後をどうするか、これまでの合同出前講座での経験をフィードバックさせて、これをベースに新しい取組みとして「地域の職人は地域が育てる」という観点から、これから入職してくる人たちを対象にした教育訓練体系の構築に向けて準備を進めているところです。もちろん、出前講座についても継続して実施していく考えです。本日は皆様の忌憚のないご意見をお聞きし、今後の取り組みに生かしていきたいと考えています。

（出席者）敬称略

- ・五代儀 昌幸：大阪労働局職業安定部職業対策課 課長補佐
- ・杉本 誠一：元滋賀職業能力開発短期大学校 住居環境科 教授
- ・倉地 進也：京都府立農芸高校 実習助手
- ・田路 清人：神戸市立科学技術高校 都市工学科 科長
- ・除本 泰喜：大阪府立西野田工科高校 建築都市工学系 首席
- ・小倉 一浩：大阪府立布施工科高校 指導教諭
- ・木下 光：大阪府立布施工科高校 首席
- ・河村喜久男：大阪府立今宮工科高校 全日制 教諭
- ・矢倉 鉄也：大阪市立都島工業高校 建築科長
- ・釜友知與子：修成建設専門学校 専科 教諭

- ・山本 正憲：近畿建設躯体工業協同組合 理事長
- ・山岡 丈人：近畿建設躯体工業協同組合 副理事長
- ・渡辺 睦翁：近畿建設躯体工業協同組合 副理事長
- ・望月 利英：近畿建設躯体工業協同組合 事務局長

- ・邑智 保則：大阪府左官工業組合 理事長
- ・武田 潔：大阪府左官工業組合 事務局長

- ・濱野 功：関西圧接業協同組合 理事長
- ・浜崎 仁：関西圧接業協同組合 副理事長

- ・岩田 正吾：関西鉄筋工業協同組合 理事長
- ・戸田 裕雄：関西鉄筋工業協同組合 副理事長
- ・田浦 真一：関西鉄筋工業協同組合 副理事長
- ・田中 勲：関西鉄筋工業協同組合 副理事長
- ・曾碩 和彦：関西鉄筋工業協同組合 事務局長

関西鉄筋工業協同組合

専門工事業担い手確保・育成委員会

(意見交換について：要旨)

・組合：職種が5職種に増えた関係でそれぞれを体験できる時間が15分程度と短くなったことを心配していた。

・A先生：時間は1職種15分でも充分だと思う。15分くらいなら集中力も切れないし生徒たちは真剣に作業に取り組んでいた。逆に1時間続けて同じ職種を体験すると飽きてしまう可能性が高い。

・B先生：確かに今の高校生には15分くらいが集中力を保つためにはちょうど良いかも知れない。それに多くの職種を体験することで建設業の工程を理解する上ではメリットは大きいと思う。

・C先生：私は1つの職種を理解するためにはもう少し時間が取れればと思う。

・D先生：この出前講座がきっかけで3級技能士制度が創設され、今年度から受検が始まるが当校から6人が受検を予定している。受検予定者にはいい勉強になった。

・組合：時間の配分については、開始時間を早くしたり終了時間を遅くするなどして多く取れないか検討していいいきたい。そのためには学校の理解と協力も必要。

・B先生：当校では毎年夏と秋に翌年の進学を希望している中学3年生を対象にオープン

スクールを行っている。学校の各科の授業等を見て、また実技を体験してもらうことで学校の理解を深め受験につなげようという試みです。この時にはたいてい保護者も同伴します。

・組合：組合で今後は中学生にも出前講座を広げようと考えているので、そうした場に体験コーナーを設けることはできるのか。

・B先生：オープンスクールは学校単位で行っているのが可能だと思うが、持ち帰って検討してみたい。

・組合：中学生はもとより保護者にもアピールできるいい機会なのでぜひ実現させたい。

・E先生：出前講座の延長線上として生徒たちに材料だけを与えて、例えばベンチやイスを造るなどの課題を設けてコンテストのようなものを開催するのも面白いと思う。ものづくりの楽しさや魅力を感じるという面からもやってみる価値があるのでは。

・組合：ぜひ検討したい。ものづくりの原点は人づくりであり、コンソーシアム事業の支援を受けての合同出前講座は今年度で終了するが、この講座は学校側の強い要望もあるので今後もできる限り続けていきたい。

建設技術展2016近畿

平成28年10月26日・27日 マイドームおおさか（大阪市）で開催

「建設技術展2016近畿」に関西鉄筋工業協同組合として8年連続で出展。昨年まで7年連続で受賞していたベストブース賞で殿堂入りしたこともあって、今年は賞をもらうことはなかったが、実物大の鉄筋モニュメントを中心としたブースには多くの来場者が訪れ、鉄筋の結束体験などを楽しんだ。

今回も近畿建設躯体工業協同組合、関西圧接業協同組合と共同出展した同展には二日間で延べ1万5000人が来場し、鉄筋工事の役割や重要性、ものづくりの魅力、楽しさを伝えることができた。



今後の展開について

来年5月で地域連携ネットワーク構築支援事業が終了するが、近畿建設躯体工業協同組合、関西圧接業協同組合、関西鉄筋工業協同組合が連携し、これまでの合同出前講座で培ってきたノウハウをベースに、次のステップとしてこれから入職してくる人たちを対象にした教育訓練システムの構築をめざしている。

「地域の職人は地域が育てる」という観点から、前述の3団体の連合体としての任意団体を立ち上げ、大阪府より認定職業訓練の認定を受けるための準備を進めている。これまでの出前講座も継続して実施していく。

ご清聴ありがとうございました。

もっと知って！鉄筋工事のこと！

関西鉄筋工業協同組合